

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



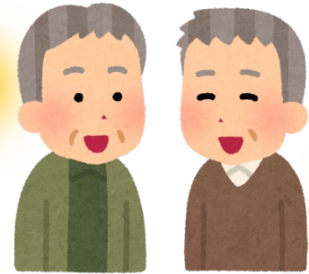
いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。落ち葉が風に舞う季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

天皇陛下即位の例、即位祝賀パレードと日本国民だけでなく世界中の人達が祝福している姿を見て誇らしく思ったのは私だけではないと思います。新し時代の幕開け、年を重ねた人たちが安心して暮らせる世の中になることを心より願っております。向寒のみぎり、お風邪には気をつけてお過ごしください。

サンライズの物語

家族以上に固い絆——

生き方に思いをめぐらす物語



その方は、末期の癌と診断され病院での治療を拒否しパジャマのまま自宅へ戻ってきた方でした。

はじめてお会いした時に室内を丁寧に掃除されていました。「この部屋を汚さずに、此処で死ぬんだ」と言った言葉に、自分の最期への覚悟を宣言したように聞こえました。

身よりはいませんでしたが、長年の友人が食事を作って持ってきたり入退院時の手続きをしてくれたりと親切にされていました。その方にどんな関係なのか聞くと「こいつは良いやつなんだよ。元気な頃は俺に食事を作ってくれたんだよ」長年積み重ねた友情は誰にも真似できないような強い絆で結ばれていたのです。

ある日、友人が自宅で風呂に入れてやりたいと階段を担いで自宅へ連れて行き入浴をし夕食、朝食を食べ帰宅すると急変し、意識が無くなってしまったのです。入院も考えましたが「此処で」とのご本人の意思を尊重し在宅で看取ることとなったのです。

毎日毎日友人の方が来ていた中、訪問看護が訪問すると息を引き取っていたのです。友人の方も駆けつけてくれましたが何度も何度も顔を擦って「お前のことは忘れないからな」と号泣されているのを見て私も涙が止まりませんでした。家族以上の友人との絆・・・その人が生きてきた証・・・

私たちも自分の生きざまを今考えなければいけないと思いました。

サンライズのデイサービス陽光だより

【送迎ドライバー】 細野 勝



デイサービス陽光の送迎ドライバーの細野 勝です、よろしくお願いいたします。

以前にも介護施設でのドライバー勤務をしておりました皆さまを安全、安心に送迎して参ります。安全運転で頑張ってます。

【入社9/9】 【血液型A型】



井上から
エール!

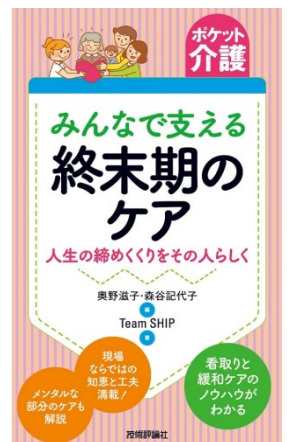
安全運転で毎回運転してくれます。

介護に役立つ書籍紹介

ポケット介護 みんなで支える終末期のケア

著：Team SHIP 編：奥野滋子, 森谷記代子

死を間近で体験したことのない介護職や介護に関わる人（家族、福祉関係者），そして終末期にあるその人自身に向けて、在宅介護と緩和ケアの実践者が現場ならではの知恵をまとめました。最期までその人らしく生きるために「何をしなければならないか」「何ができるか」「こんなときどうすればよいのか」を解説しています。いかなるときも、旅立つあなた、看取るあなた、そして支援するあなたの応援団でありたい、そんな願いを込めた1冊です。



NEWS 今月のニュース

「1人で抱え込まないで」 女優・杉田さん体験語る

介護について理解を深める「さが介護・健康・福祉フェア2019」が10日、小城市のゆめぷらっと小城で開かれた。女優の杉田かおるさんが「母から学んだ介護とリハビリ」と題して講演し、母親の介護での実体験や健康な生き方などについて語った。

杉田さんは、母親が倒れた2013年の夏ごろから介護を始めたという。突然のことで介護については「教科書もなく未知との遭遇だった」と振り返った。

睡眠不足で介護2年目には自身が倒れてしまったと明かした。その体験から「かかりつけ医を持つなどして、誰かに相談できる環境をつくるのが重要」と呼び掛け、「自分や家族だけで抱え込まないようにして、笑顔で笑い合えることがなによりの幸せ」と強調した。

聴講した佐賀市の今泉由起子さん（50）は「杉田さんの話は、自分の介護の経験と似ていて、共感を得るところがあった。介護を始めた約7年前は苦しい日もあったが、今は笑顔で日々を過ごすことの大切さを感じている」と話し

た。

会場では、介護ロボットの体験や福祉用具の展示、正しい歩き方講座などがあり、来場者は実際に触れることで、介護や健康の大切さを再認識していた。

フェアは佐賀県主催、佐賀新聞社共催、タイヘイ薬局・タイヘイM&Cが特別協賛した。



<佐賀新聞

2019年11月12日(火) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>